



**首都圏と鹿屋の生徒が一緒に「鹿屋」を考える**

2月16・17日、東京都の京華中学・高等学校の生徒ら8人が市内を訪れました。これは、首都圏の中高生が市の課題解決を考える「かのや100チャレ(鹿屋市農泊推進協議会主催)」で、同校の提案が最優秀賞に選ばれ、実現したものの。生徒らは農泊先での交流や郷土料理、戦跡巡り、地元高校生との意見交換会等を通じ、鹿屋への想いを強くしました。



**仲間と苦難を乗り越え最優秀賞**

2月22日、吾平町麓で飲食店を営む浅井ゆかりさんと商工会の関係者が市役所を訪れました。浅井さんは、「第21回鹿児島県商工会女性部『商工女性の主張大会』」で、仲間の励ましで病気を乗り越え「エゴマ」の商品化に取り組んだ経験を発表し、見事に最優秀賞を受賞。7月に沖縄県で開催される九州大会への出場を決め、その喜びと抱負を語りました。



**長年の地域づくりで内閣総理大臣賞**

2月22日、豊重哲郎さん(串良町上小原)が市役所を訪れ、「平成30年度ふるさとづくり大賞」最優秀賞(内閣総理大臣賞)の受賞を報告しました。これは、長年にわたる柳谷町内会での特色ある地域づくり活動と、人材育成の取り組みが評価されたもので、豊重さんは「大変光栄であり、更なる地域の充実を目指していきたい」と受賞の喜びを語りました。



**400年続く伝統を受け継ぐ子どもたち**

2月17日、串良町細山田の山宮神社で「山宮神社春祭り」が開催されました。この祭りは、五穀豊穡と家内安全を祈願して行われ、約400年の歴史を持つ伝統行事。この日は、堂園・馬掛・生栗須の棒踊り保存会による「正月踊り」と氏子らによる「かぎ引き」が行われた後、ユーモラスなかけ合いとともに木製の牛で田をならす所作の「田打ち」が奉納されました。



**鹿屋女子高で社会の仕組みを学ぶ**

2月10日、鹿屋女子高校で「第4回キッズビジネスタウン」が開催されました。参加した小学生は様々な仕事でもらった給料で、納税・買い物も疑似体験。経済の仕組みを楽しく学んでいました。



**高校生が躍動する感動の舞台「ヒメとヒコ」**

2月10日、市文化会館で、高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」が上演されました。高校生離れた迫力ある演技や歌が約1,200人の観客を魅了し、会場は感動の渦に包まれました。



**人型ロボットを使って開発したアプリを実演**

2月13日、リナシティかのやで「高校生ロボットアプリ発表会」が開催され、鹿屋女子高校と鹿屋工業高校の生徒が、人型ロボットを操るためのアイデアあふれる自作アプリを披露しました。



**強豪社会人チームが高校生を熱血指導**

2月24日、平和公園屋内練習場などで「Honda硬式野球部」による野球教室が開催されました。この教室では、各ポジション別に行われた守備練習の後に打撃練習を実施。参加した市内の高校球児約70人は、体の向きや角度、手足の使い方など、一つ一つの動作での細部に渡る指導を受け、楽しみながら成長の手応えを感じている様子でした。



**街と人がつながり生まれたスパイス**

2月14日、KITADA SARUGGAで、大隅産の調味料「めぐりスパイス」の試食会が開催されました。このスパイスは、フードコーディネーターの福元由紀子さんが、高隈のクイモや大崎町の赤ピーマン、南大隅町の塩などを配合し開発した調味料。同店や県大隅加工技術研究センターを活用し、商品開発に至った事例として注目を集めています。



**もう1杯いかが？南町で「そば」による交流**

2月21日、南清水川水利組合活動組織が育てた「そば」の試食会が開催されました。この日は100人前のそばが用意され、参加者たちは、そばのお代わりをしながら、楽しく交流していました。



**高隈連山の頂に挑む健脚自慢のランナーたち**

2月10日、「第4回高隈山ピークハントトレイル」が開催され、御岳やおんたけ大笹柄岳などの高隈連山を縦走する38kmコースと15kmコースに、148人が参加し、その健脚を競い合いました。



**豊作願い境内を駆ける「お田植え祭り」**

2月22日、七狩長田貴神社(田崎町)で、五穀豊穡と無病息災を祈願する「お田植え祭り」が開催されました。見物客は、田んぼに見立てた境内で行われた神事に1年の豊作と健康を願いました。



**新1年生に定規を寄贈**

2月25日、県トラック協会の関係者が市役所を訪れ、交通標識入りの定規1,200本を市内の各小学校に寄贈されました。交通安全を願い寄贈されたこの定規は、新入学児童に配付されます。



**目指せ、地元就職！合同就職面談会**

2月11日、リナシティかのやで、「鹿屋市合同就職面談会」が開催されました。参加企業ごとに設けられた65のブースでは、地元での就職希望者と採用担当者との面談が盛んに行われました。



**これからの担い手が農業の未来を語り合う**

2月22日、市内ホテルで、「鹿屋の農を語る夕べ」が開催され、畜産農家のがみへつふみゆきさんと妹尾亜利抄さんが事例発表を行ったほか、平成29年度の新規就農者に祝い金が贈られました。